LED ベース照明

共通取扱説明書

保管用

埋込スクエア 450 タイプ 共通

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

ここに示したご注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
- してはいけない「禁止」内容です
- しなければならない「強制」内容です

施工者様へ

警告

必ず実施

●接地（アース）工事を確実に行う
「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。接地工事が不完全な場合、感電の原因になります。

●施工は、施工説明にしたがい確実に行う
施工は電気工事士有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令にしたがって行ってください。施工に不備がありますと、落下・感電・火災の原因になります。

●器具質量に耐える場所に取り付ける
取り付けに不備がありますと、感電・落下・けがの原因になります。

●PWM制御方式の調光器を接続する
それ以外の調光器ではちらつきが発生する場合があります。調光器の種類によっては、調光範囲が変わる可能性があります。

禁止

●破損している器具を取り付けない
感電・火災・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

●可燃物の近くに取り付けない
ドアや建具などの開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色・火災の原因になります。

禁止

●振動 ・ 衝撃のある場所には取り付けない
落下や器具破損の原因になります。

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない
腐食や落下の原因になります。

●水平天井以外には取り付けない
器具は水平天井以外で使用しないでください。（傾斜天井、壁などには取り付けできません。）発熱により寿命が短くなる原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災・感電の原因になります。

●断熱材・防音材は被せない
断熱材、防音材を被せた状態で使用しないでください。火災の原因になります。設置の際は、器具と断熱材・防音材・造営材などと、図のような空間を設けて施工してください。

注意

必ず実施

●屋内で、適正温度（5～35℃）で使用する
屋外や高温で使用すると、感電や火災・短寿命の原因になります。

●定格電圧(100−242V)±6%以内の電源電圧、定格周波数（50 ／ 60Hz）で使用する
電源電圧が定格電圧の±6%以内であることと、周波数が定格周波数であることを確認してから、ランプの取り付けを行ってください。間違って使用すると、短寿命・火災の原因になります。

●スイッチを非接地側に取り付ける
スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取り付けてください。
（接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。）

禁止

●高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない
高温の場所（35℃を超える場所）、直射日光の当たる場所には取り付けないでください。腐食・落下の原因になります。

●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない
水滴や湿気により絶縁不良となり、漏電や感電の原因になります。

●粉塵が多い場所、引火性ガスの発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・発火の原因になります。

●暖房器具・火気など、熱源の上や近くには取り付けない
器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

お客様へ

警告

必ず実施

●点灯異常の際は電源を切る
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店にご相談ください。放置しますと感電・火災・落下・けがの原因になります。

●清掃の際は、必ず電源を切る
感電や破損の原因になります。

禁止

●可燃物を近づけない
器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、あるいは燃えやすいものや家具などを近づけたりしないでください。変形・変色・火災の原因になります。

禁止

●器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない
器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

●破損した器具を使用しない
器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店にご相談ください。放置しますと感電・火災・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない
器具の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災などの原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災・感電の原因になります。

注意

必ず実施

●定期的に点検する
設置して8～10年※経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。数年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。点検せずに長時間使用を続けますと、まれに、発煙・発火・感電などの原因になります。
※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、
年間3,000時間点灯した場合。
（JIS C8105-1解説による）

●屋内で、適正温度（5～35℃）で使用する
屋外や高温で使用すると、感電や火災・短寿命の原因になります。

禁止

●光を直視しない
点灯時、ランプを直視しないでください。目を傷める場合があります。

●使用中 ・ 使用直後に触らない
点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。やけどの原因になります。

使用上のご注意

●電源用送り配線は、器具内の空間が狭いため天井裏を通すことを推奨します。
●ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、誤動作したりする場合があります。
●間引き点灯の場合は、分岐回路を設け、そのスイッチで消灯してください。
●LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
●表示が発光するスイッチに使用した場合、表示が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
●照射面や照射距離が近い場合、光むらが発生する場合があります。

お手入れ方法

●明るく安全に使用するため、定期的に清掃してください。
●清掃する際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
●清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って使用してください。
洗剤を使用したあとは、洗剤が残らないように水拭きし、乾いた布で水気を拭き取ってください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証期間
保証期間は、お買い上げ日より3年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。　詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間中に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。
詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて
ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源（電圧・周波数）の使用などによる故障および損傷
④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
⑦日本国以外での使用による故障および損傷

アイリスオーヤマ株式会社
〒980-8510 仙台市青葉区五橋２丁目１２番１号
ホームページ http://www.irisohyama.co.jp/
お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
アイリスコール　受付時間 9:00～17:00
0120-311-564

121114-STS-STS-01
P121114-STS-RUI-01

取り付け方

●部品は本説明書通りに正確に取り付けてください

1 取り付け前の確認と取り付けの基本注意

●造営材の強度確認

ボルト取り付け部の強度、天井材の強度が、器具質量に十分耐えることを確認してください。

※器具質量は、仕様を参照してください。
取り付けボルトはW3／8又はM10を使用してください。
不備があると落下の原因になります。

●器具の取り付け位置と寸法確認

器具の取り付けボルト位置と埋め込み穴の位置・寸法が下図に対応することを確認してください。

（参考） 取り付けボルトピッチ

⚠ボルト取り付け位置は造営材の構造により調整してください。

本体取付穴寸法

●断熱材・防音材の施工について

※住宅の断熱施工天井ではご使用できません。

・電線配線は、断熱材・防音施工などの上に設置してください
・配線器具に電源線を接触させないでください。

※本書の「警告」に従い施工してください。

●取り付けボルト器具内寸法の注意点

器具内部の干渉を防ぐため、取り付けボルトのA寸法は、25mmを超えないようにしてください。

⚠注意 器具には金属部品が多くあります。安全のため器具本体の取り付け・取りはずし作業時には、保護手袋などを着用してください。

※取り付けボルト・ワッシャー・六角ナットは付属していません。

⚠注意
●取り付けボルトには必ずワッシャーを入れ、ナットは必要以上に強く締め付けないでください。器具破損の原因になります。（推奨トルク値：0.8N・m）
●取り付けボルトは必ず２本以上使用してください。またボルトの引込しろは、器具内部の安全確保のため必ず守ってください。

2 安全確保のため電源を遮断する

取り付け作業前に、かならず元電源を遮断してください。

⚠警告 電源を遮断せずに作業した場合、感電・短絡事故の原因になります。

3 器具本体を取り付ける

●電源線とアース線、調光信号線を本体の配線引き込み穴からそれぞれ引き込みます。
電源線・アース線…端子台① 付近の穴（電源・アース用）
調光信号線…………端子台② 付近の穴（調光信号用）

●同時に本体へ取り付けボルトを通し位置を確認し、その後ワッシャー・六角ナットで本体を固定します。

4 アース線・電源線を接続する

アース線、電源線を端子台に確実に差し込みます。

※各配線の芯線が露出している部分は、造営材と十分に距離を離し、短絡防止に配慮してください。また接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因になります。

適合電線
ストリップ長さ:10〜14mm
端子台の電源・送り・アース端子の適合電線径: φ1.6、φ2.0単線相当

※端子台の容量は20Aです。

※D種接地工事を行ってください。

※アース線・電源線を抜くときは、解除ボタンを押しながら一本ずつ引き抜いてください。

⚠注意 電線接続後器具内の余分な電線は、LEDユニットへの当たりを防ぐため、電源線用穴へ押し込むか、電線を押しつけて処理してください。

5 調光信号線を接続する

●信号線に極性はありません。信号線の接続は、信号制御器の取扱説明書にしたがい、確実に行ってください。

●解除ボタンを押したまま、調光信号線を奥まで確実に差し込んでください。解除ボタンを開放して調光信号線が抜けないことを確認してください。

●信号線用端子台の容量は3Aです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光できなくなります。

適合電線
ストリップ長さ:8〜9mm
単線φ0.8〜φ2.0mm 半田処理より線：0.5〜2.5m㎡

※調光信号線の取り外し

調光信号線を引き抜く場合は、解除ボタンを押しながら1本ずつ引き抜いてください。

6 本体にLEDモジュールを取り付ける

①LEDモジュールのフレームを持ちながら、取付バネをバネ受け金具の切り欠き部に引っ掛けます。切り欠き部の片側に押し付けながら行うとより簡単です。

②本体側2組のバネ受け金具に引っ掛けます。ここでLEDモジュールをぶら下げた状態にします。

⚠注意
取付バネに顔を近づけないでください。作業中にバネが急に開くと危険です。

⚠警告
取付バネは、バネ受け金具※の「切り欠き部」に確実に引っ掛けていることを確認してください。
取り付け作業中に落下すると大変危険です。

③調光信号線及びアース線・電源線の各コネクターを連結します。このとき配線でLEDモジュールを引っ張らないようにしてください。故障の原因になります。

⚠注意 コネクター連結作業中に、取り付けバネに触れないでください。LEDモジュールが落下するおそれがあります。

④残り2組の取付バネを①と同じ手順で取り付けます。この際、各配線を手でまとめ、LEDモジュールの枠からはみ出さないように収めてください。取り付け後 LEDモジュール本体が水平にぶら下がっていることを確認してください。

⑤LEDモジュールの取付バネ側のフレーム両端を持ち、ゆっくり水平に持ち上げ器具本体へ収納します。最後にフレーム全周のすき間が均等であることを確認します。

⚠注意 手や指をはさまないように注意してください。

⑥取り付け後点灯確認します。
電源を供給し、異常なく点灯することを確認してください。

LEDモジュールの取り外しかた

①電源を遮断します。

②LEDモジュールの取付バネ側のフレームを持ち、ゆっくり下方向へ引き下げます。ここでLEDモジュールが、取付バネで水平にぶら下がった状態にします。

③LEDモジュールに手を添え、LEDモジュールと本体の間から見える取付バネ2組を閉じながら、バネ受け金具からはずします。

⚠警告 取付バネをはずすときは、LEDモジュールの重さに耐えられる体勢で行ってください。不意な荷重がかかり落下すると危険です。

④LEDモジュールをゆっくりおろし、残り2組の取付バネでぶら下げた状態にします。このあと手順6-③から逆の手順でLED モジュールをはずします。

各部の名称

●説明図は一部を省略抽象化した図です

仕　様

器具品番	サイズ (mm)	色温度 (K)	器具光束 (lm)	入力電圧 (V)	消費電力 (W)	質量 (kg)
BL-60N-UKFSQ45-D	L469 × W469 × H110 (LEDモジュール含む)	5000	6000	200	42.9	4.7
				100	43.5	
BL-46N-UKFSQ45-D		5000	4600	200	33.6	
				100	33.7	
BL-34N-UKFSQ45-D		5000	3400	200	25.8	
				100	25.9	
BL-57W-UKFSQ45-D		4000	5740	200	42.9	
				100	43.5	
BL-44W-UKFSQ45-D		4000	4400	200	33.6	
				100	33.7	
BL-32W-UKFSQ45-D		4000	3250	200	25.8	
				100	25.9	
BL-56WW-UKFSQ45-D		3500	5610	200	42.9	
				100	43.5	
BL-43WW-UKFSQ45-D		3500	4300	200	33.6	
				100	33.7	
BL-31WW-UKFSQ45-D		3500	3180	200	25.8	
				100	25.9	
BL-55L-UKFSQ45-D		3000	5540	200	42.9	
				100	43.5	
BL-42L-UKFSQ45-D		3000	4250	200	33.6	
				100	33.7	
BL-31L-UKFSQ45-D		3000	3140	200	25.8	
				100	25.9	

・定格電圧：100～242V
・周波数　：50／60Hz
・PWM調光方式
・設計寿命：約40,000時間
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。